

2021年5月17日

■+■-----
+■┘ 中部防災推進ネットワーク メールマガジン Vol.9
■┘-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、メールマガジン（2021年5月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合の発表資料等は中部防災推進ネットワークホームページに掲載しています。

<中部防災推進ネットワークホームページ URL>

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html>

1. 本ネットワークの参画団体のご紹介

(1) 不動産協会

一般社団法人不動産協会は、昭和9年、不動産に関する調査研究を目的として設立された不動産懇談会（任意団体、昭和16年に不動産協会と改称）が前身となり、昭和38年3月4日に社団法人として発足し、住宅地の開発、都市再開発、一戸建て住宅やマンションの建設・分譲、ビルの建設・経営・管理、リゾート開発、不動産取引の仲介、不動産鑑定、土地活用コンサルティング、不動産証券化などの事業に取り組む企業156社（令和3年4月1日現在）により構成される団体です。会員企業は、良質なオフィス・住宅の供給、住宅ストックの円滑な流通等に努めておりますが、当協会では、これらの事業を会員企業が積極的、効果的に推進できるよう、不動産関連諸制度に関する調査・研究を行うとともに、政策提言や社会貢献活動などに取り組んでおります。



<不動産協会 URL>

<https://www.fdk.or.jp/>

(2) 防災安全協会

当協会は、「防災」の組織力の強化と対外的な連携を深める共に一層の存在価値を高め、さらに会員相互の交流や防災業界の活性化に寄与する目的で、創立 10 年目を迎えました。

協会事業活動の柱は、優れた防災製品を認証する制度に防疫製品も加え、防災推奨品は 350 品目を超え、正会員社様も 200 社に及び、新資格「災害備蓄管理士」を開講し、全国に約 300 名の取得者が誕生し、物的、人的の両面から防災を担っております。

また、「災害食大賞 2021」や「防災推奨品大賞 2021」を開催し、広く防災製品の普及と向上に努め、協会事業をより充実させるために防災推進協議会、日本防災産業会議、一般社団法人日本食育学会、一般社団法人日本医療資源開発促進機構や全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) と提携し、産業界・食品業界・医学界との尽力を得て、日本の優れた防災力を内外に広める活動と取り組んでおります。

今後さらに防災意識を高める活動を推進し、社会的貢献と危機管理を念頭に幅広く防災・減災活動を展開していきます。



<防災安全協会 URL>

<https://bousai-anzen.com/>

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ

(防災イベントの予定等)

(1) 岐阜県からのお知らせ

○イベント名

第 72 回げんさい楽座

○開催日時

2021年6月28日(月) 19:00~20:30

○開催場所

オンライン

○概要

災害時の復旧や被災者支援に大きな役割を果たす災害ボランティア。災害ボランティアを支える岐阜県の体制を紹介するとともに、水害時のボランティア活動について学びます。

○URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12948.html>

3. 編集後記 (事務局のひとこと)

中部防災推進ネットワークに協力団体として参加しております中部経済連合会の■■■■と申します。

貴重な機会を頂きましたので、最近の重要なビジネスツールである Web 会議について、私が感じていることをお話しさせていただきます。

新型コロナウイルス対策を契機に随分と Web 会議が浸透してきたなあと思う今日この頃です。

コロナ対応が始まる前は、それほど積極的に活用されていなかった Web 会議が、必要に迫られているとはいえ、ここまで浸透してきたことに驚きを感じます。

もちろん、Web 会議は、良い面もあれば、悪い面もあります。まだまだ、使い勝手が良くない部分も多分にあるでしょうし、通信環境が万全でない場所でも使用することもあろうかとも思います。

しかし、私は、会議を行うために掛かる移動コスト(時間と費用)が、劇的に削減できるのが非常に良いのではないかと考えています。

今まででしたら、移動時間も考慮して会議に参加するかどうか判断していたわけですが、Web 会議での参加という選択肢が増えたことにより、移動時間がなくて参加できないという事が減ったのではないのでしょうか。

また、マスク必須の現状を踏まえると、Web 会議にお

いては感染症対策を確実にできれば、マスクを外して会議出席者の顔を拝見することが出来たりもします。

現在のコロナの状況を嘆いていても始まりません。Web会議も大いに活用して、関係者の皆様と活発な情報交換と意見交換をする事を通じ、一つでも多くの気づきを得て、少しでも中部圏の防災・減災のお役に立てれば、これに勝る喜びはありません。

